



## 平戸市消防団・団長

はるの 春野 留二さん(岩の上町)

昭和41年に消防団に入団。旧平戸市時代に分団長、合併後に副団長を歴任し、平成26年4月から団長に就任。平戸市の総勢1,034人の消防団員の指揮を執る。

# 市民の皆さんの生命財産を守るために日々頑張っています

消防団・団長に聞いた現在の消防団の状況

## ー現在の消防団の課題は

若者不足で入団する人が少なく、団員の確保が課題ですね。地区によっては定員を満たしている分団もあるのですが、若手が入ってこないのが、辞めるに辞められない状況にある分団もあります。

## ー新入団の確保についてどんな状況ですか

全体的に若い団員が少ないので、後継者を探すのに苦労しています。

昔と変わらず、各家を回ったり、知り合いに直接声をかけたりしていますがなかなか難しいですね。

平成27年4月1日から消防団や消防署OBの16人に機能別団員ということで、基本的には災害時のみに限定して出勤をしてもらっています。また、消防団サポート事業と

して、消防団員が市内のサポート事業所などを利用する場合は、優遇措置などの支援をしていただいています。

## ー入団を考えている人に対してメッセージはありますか

消防団員は年齢層も職業もさまざまなので、いろんな交流やつながりができます。ここで、一生付き合う仲間に出会えるかもしれません。

また、消防団活動は、機械の手入れや訓練、出初式などがあります。全部が強制ではなく、災害時は別ですが、仕事やプライベートを優先しても構いません。しかし、団員の多くが時間を作って出勤したり、行事に参加していることも事実です。

## ー今後の消防団については

消防団は、地域住民の生命財産を守ることが一番の目的です。そのために、災害時に備え日々の点検や訓練などを怠らず、市民の皆さんとのつながりを大切にしていきたいながら、「消防団がいて良かった」「ありがと」と言ってもらえるような活動を今後とも続けていきます。



平成28年消防出初式分列行進



## 消防団員はどんな構成なんですか？

現在の団組織は、団本部、女性消防団および各地区ごとに、30分団、1,034人の団員が活躍しています。年齢は18歳から68歳までで、会社員、公務員、自営業などさまざまな業種の人たちが在籍しています。

団員は、仕事と消防団活動を両立させており、団員が所属する区域や隣接する区域で火災などの災害が起ると、職場の理解と協力を得て昼夜を問わず現場に出動しています。



ホース延長訓練

## 平戸市消防団員職業別団員数

(平成27年)

| 職業    | 人数   |
|-------|------|
| 会社員   | 418人 |
| 公務員   | 107人 |
| 自営業者  | 254人 |
| 家族従業員 | 99人  |
| 団体職員  | 149人 |
| その他   | 7人   |



## 消防団ってどんな組織なの？

消防団は消防組織法に基づき、市内の各地区に設置されている消防機関です。

地域における消防防災のリーダーとして、平常時・緊急時を問わず地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っています。

消防団は、市内で起こる火災や災害などが発生した場合、現場に駆けつけいち早く任務にあたります。いつ緊急事態が発生してもいいように、日々消防車やその他機器の点検に努め、定期的に訓練などを行なっています。



放水訓練



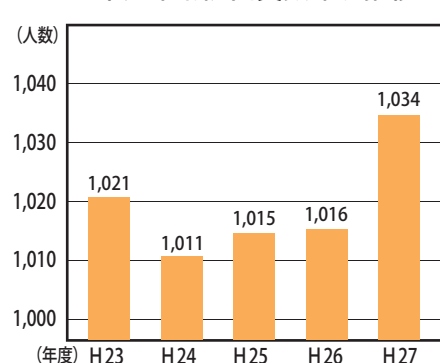
消防車出動

## 地区別消防団団員数

(平成27年)

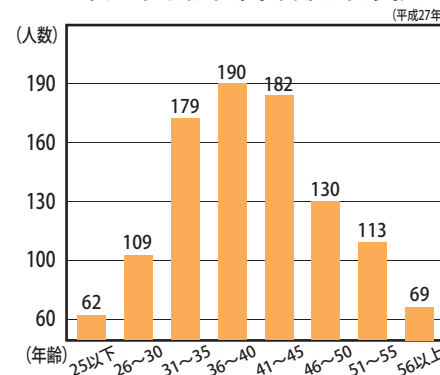
| 地区     | 分団数                 | 団員数    |
|--------|---------------------|--------|
| 本部     |                     | 30人    |
| 平戸北部地区 | 1～7分団<br>(5分団度島を含む) | 215人   |
| 平戸中部地区 | 8～12分団              | 183人   |
| 平戸南部地区 | 13～18分団             | 185人   |
| 生月地区   | 1～3分団               | 169人   |
| 田平地区   | 1～5分団               | 165人   |
| 大島地区   | 1～4分団               | 87人    |
| 計      | 30分団                | 1,034人 |

## 平戸市消防団員数年別推移



## 平戸市消防団員年齢別団員数

(平成27年)





## 女性消防団員にインタビューしました!



こした  
小下とし子さん (木場町)  
平成20年入団(7年目) 班長



たなか  
田中 雅江さん (野子町)  
平成19年入団(8年目) 団員

### Q 入団したきっかけは何ですか

平成19年に全国女性消防操法大会に隊長として出場したのがきっかけです。その時は7人出場したのですが、その内の5人が消防団に入団しました。

もともと消防には興味があり、女性消防団を募集していることを知り、自分もやってみたいと思い入団しました。

### Q 入団して良かったことは何ですか

平成26年に紐差地区の第10分団に8カ月間入団して、男性の団員と一緒に手入れや訓練などの活動を行なったことで、実際の消防団員の活動を体験することができたことですね。あとは、小学校や中学校に行って、児童や生徒たちに救命講習を教えることができ、とてもいい経験になりました。

以前、実際に交通事故の現場や、仕事場の前の道に人が倒れている場面に遭遇したことがあって、その時に消防団でいろんな訓練を受けていたおかげで、慌てずに落ち着いて応急処置や、安全確保しながら消防署に連絡することができたことですね。

### Q 苦勞することはありますか

在宅で介護をしているので、消防団の活動が入った場合は少し苦勞することもあります。夫も以前消防団に入団していたので、理解してもらって助かっています。

南部地区には私1人しか女性消防団員がいません。消防の行事がある時は苦勞しているので、仲間が増えたらうれしいですね。

### Q 消防団に入団を考えている人に対してメッセージはありますか

仕事と家庭との両立は難しいかもしれませんが、防災意識が高まったり、いろんな人と交流ができるので、消防団に入って損はないですよ。

女性消防団は男性の活動とは違い、基本的には火災現場には行かず、救命講習や応急措置など、地域に防災意識を普及させる活動が主なので、女性の人も気軽に入団してください。



## 消防団員募集中! ~あなたの力が地域を救います~

地域の防災力を保つためには、多くの消防団員の力が不可欠です。

18歳以上で働いている人や、女性の皆さんの入団をお待ちしています。

興味のある人は、消防本部総務課、消防団係へお問い合わせください。

■お問い合わせ 消防本部総務課 ☎22-3167



## 「機能別団員」が協力しています

団員の中には、機能別団員という人たちがいます。機能別団員は、消防団や消防職員のOBです。

機能別団員は、基本的に災害時のみ出動するものとして、平成27年4月1日から配置されました。これは、不足している地域での団員数の確保を目指す目的で、現在16人が活躍しています。

|                 | 基本団員                                                    | 機能別団員         |
|-----------------|---------------------------------------------------------|---------------|
| 任 務             | 全ての消防事務に従事                                              | 災害時出動         |
| 要 件             | 18歳以上で心身ともに健康な人                                         | 消防団や消防職員のOB   |
| 報 酬<br>(年額)     | 21,000円以上                                               | 10,500円       |
| 出動手当<br>(1回当たり) | 2,800円(水火災出動)<br>2,400円(警戒および訓練など)<br>2,200円(機械器具手入れなど) | 2,800円(水火災出動) |



## 主な消防団活動を教えてください

- 1月 消防出初式
- 2月 一般家庭防火診断
- 3月 防火パレード
- 4月 辞令交付式、消防団新入団員訓練
- 6月 消防団幹部訓練、女性消防団訓練、平戸市防災訓練(隔年)
- 8月 消防団操法大会(隔年)
- 10月 消防フェスタ(隔年)
- 11月 消防団秋季総合訓練、防火パレード  
県原子力防災訓練
- 12月 年末夜警



## 消防士との役割の違いは?



消防署との合同訓練



幹部訓練



秋季訓練

消防士は市の職員で、火災、救助、救急活動などを専門的にを行います。しかし、平戸市内235.6平方キロメートルもの広大な面積を消防士だけでは対応できません。そこで、地域を熟知している消防団員と連携し、被害の拡大を抑えることが重要です。

火災現場では消火、水利の確保、交通整理をはじめ、消防士が消し終わった火事場の残火処理や火災が再燃しないように警戒にあたります。

消防団の活動は火災現場だけでなく、風水害による災害現場での対応や避難誘導、行方不明者の捜索などさまざまです。東日本大震災では、消防団員の活躍により、たくさんの人命が助かりました。

また、平常時火災予防の広報や消火訓練、消防車や機械器具の点検整備などを行い、いつでも出動できるように準備を整えています。

このように、消防団員は非常勤公務員という立場で、消防士と連携し地域を守っています。